

第1研究課題 第1A分科会

「教育課程に関する課題」

研究主題 「特色ある学校づくりに向けた教頭の役割」

一ふるさとへの愛着と誇りを持ち、社会の一員としての自覚を持った
児童生徒の育成を目指して一

黒潮町立佐賀小学校 岡本幸定

1 研究の概要

黒潮町では、教育行政方針の中で、「ふるさと・キャリア教育」の推進を掲げ、「ふるさとの歴史や文化に対する誇り」を持ち、「地域の課題に対する当事者意識」を育てることを目指して教育活動を展開している。各学校でも、それぞれの地域の特性を生かし、様々な関わり合いを仕組み、地域とつながることを通して、ふるさとへの思いやコミュニティの一員としての自覚を持った児童生徒の育成を目指している。

各学校では、それぞれの地域の実情に合わせ、各教科の学習や総合的な学習、学校行事において地域の文化や人、また課題などを学んでいる。佐賀小学校は、佐賀中学校とともに、令和2・3年度の2年間にわたり、「中山間地域における特色ある学校づくり推進事業」の指定を受け、生活科・総合的な学習の時間を中心にして、小中の連携のもと、児童・生徒の育成に取り組んできた。

黒潮町教頭会では、各校の実践を持ち寄り、教頭としての役割や関わりについて研究を進めた。各校での実践と佐賀小中の取り組みを提起し、成果と課題をまとめ、報告する。

2 研究の内容

実践内容	教頭としての関わり
(1) 地域に愛着と誇りを持つ児童生徒 ア ふるさとキャリア教育の推進 イ コミュニティスクールの立ち上げ ウ 地域の課題である防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none">○ 地域の方との準備会の実施○ 各校の実態を踏まえた教育課程の編成○ 「町防災教育プログラム」の活用 防災担当との連携
(2) 実態に合わせた取組 ア 「まるごと教育祭」小中高の連携した実践 イ 「上川口マルシェ」地域と児童をつなぐ	<ul style="list-style-type: none">○ 小中高の連絡調整 校種間をこえた計画と実施○ 地域と学校をつなぐ計画 地域へのアプローチ
(3) 中山間地域の特色を生かした取組 ア 小中の連携 (ア) 小中共通の学校教育目標を設定 「人間を大事に」 (イ) 「生活科・総合的な学習の時間」9 年間のカリキュラムの作成及び実践 (ウ) 小中合同行事 イ 保小連携(スタートプログラムなど) ウ 地域の方が学校に関わる取組づくり	<ul style="list-style-type: none">○ 小中連携推進委員会での企画・進捗管理○ 系統的・効果的な授業づくりの研究体制 の確立○ 小中合同行事での効果的な実践の検証○ 保小連携の実践を引き継ぎ・積み重ね○ 地域コーディネーターを活用して、学校 ボランティアの輪をつくる。

3 教頭としての今後の課題

- (1) 「総合的な学習の時間」の授業改善を進め、児童一人一人が町の課題を「わがこと」として捉える意識をどう持たせるのか、の研究を深める。
- (2) 児童・生徒が探求する総合的な学習の時間の授業を進め、探求的なスキルをどう他の教科にいかすか、の実践を重ねる。
- (3) 研究の成果をどう次年度に引き継いでいくか。(文書への記録、職員会・校内研への提起)
- (4) コミュニティスクールとしての活動をいかすため、地域にどう関わっていくか。